

平成 26 年度久留米市保健所事業報告について

課名		総務医薬課	
チーム名		総務企画チーム	医事業事チーム
通年事業		○庶務、財務(随時) ○保健所事業の総括(随時) ○人口動態調査(毎月実施)	○病院、診療所等の申請、届出の受付(随時) ○医療従事者の免許申請の受付(随時) ○医療法人の申請、届出の受付等(随時) ○薬局、医薬品販売業等の申請、届出の受付(随時) ○医療安全相談(随時) ○医療施設動態調査実施(毎月実施) ○病院報告(毎月実施)
26年	4月	○衛生行政報告例調査の実施 ○地域保健・健康増進事業報告	○准看護師等(県知事免許)免許新規申請の受付(3月～) ○医師、保健師、看護師等(大臣免許)免許新規申請の受付(3月～)
	5月		○不正大麻・けし撲滅運動(～6月) ○薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業更新の調査・受付
	6月	○国民生活基礎調査(世帯票)の実施 ○社会保障・人口問題基本調査(世帯動態調査)の実施 ○公衆衛生看護学実習受入(久留米大学6/2～6/12)	○毒物劇物取扱者試験願書の受付 ○毒物劇物販売業(農業用)監視指導 ○「ダメ・ゼッタイ」普及運動街頭キャンペーン(6/22)
	7月	○医師臨床研修(公立八女総合病院7/1～7/14)	○診療所立入検査(～9月) ○医薬品等一斉監視指導(～10月) ○毒物劇物販売業者監視指導(～8月)
	8月	○平成26年度第1回保健所運営協議会開催	○病院立入検査説明会(8/19) ○薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業更新の調査・受付 ○家庭用品試買検査(～9月) ○精度管理委員会(8/1)
	9月	○救急医療週間啓発事業の実施(9月10日) ○公衆栄養学実習受入(中村学園大学9/1～9/5)	○衛生検査所立入検査
	10月	○医師臨床研修(聖マリア病院10/1～10/31) ○患者調査の実施 ○受療行動調査の実施	○病院立入検査(～11月) ○診療所立入検査結果の通知 ○麻薬免許継続申請の受付 ○麻薬年間届の受付(～11月) ○衛生検査所立入検査結果の通知 ○医療施設静態調査の実施
	11月		○薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業更新の調査・受付 ○配置従事者身分証明書継続受付(～12月) ○危険物運搬車両の指導取締 ●危険ドラッグ乱用防止啓発(久留米大学あのか祭11/1) ○精度管理専門委員会(11/11)
	12月		
27年	1月	○公衆衛生看護学実習受入(聖マリア学院大学1/26～2/5)	○病院立入検査結果の通知 ○取扱処方箋数届受付(～3月) ○シンナー等取扱事業者立入検査(～2月) ○衛生検査所立入検査結果報告会・研修会(1/28) ○准看護師試験願書の受付 ○医師・歯科医師・薬剤師届 ○医療業務従事者届
	2月		○薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業更新の調査・受付 ○医療安全対策研修会(2/19)
	3月	○平成26年度第2回保健所運営協議会開催	○准看護師等(県知事免許)免許新規申請の受付(～4月) ○医師、保健師、看護師等(大臣免許)免許新規申請の受付(～4月)
備考			

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	総務医薬課(医事薬事チーム)
重点事業項目名	医療安全対策の推進

1 医療安全相談窓口について

医療の安全と信頼を高めることを目的として、患者やその家族からの医療に関する苦情・心配や相談等に対応するとともに、医療安全に関する助言及び情報提供等を行い、また、必要に応じて病院、診療所その他の医療を提供する施設に対し、患者等からの相談等について情報提供等を行いました。

(162件)

(平成26年度相談件数)

相談内容	件数	比率
医療行為、医療内容	36	22.2%
医療機関従事者の接遇	25	15.5%
医療機関の施設	1	0.6%
カルテ開示	0	0.0%
医療費、診療報酬等	7	4.3%
セカンドオピニオン	0	0.0%
健康や病気に関すること	11	6.8%
医療機関の紹介・案内	16	9.9%
薬品に関すること	8	4.9%
その他(苦情)	12	7.4%
その他(相談)	46	28.4%
合 計	162	100%

(平成27年2月末現在)

2 医療安全対策研修会の開催

病院、診療所および助産所の管理者又は従事者を対象に医療安全対策研修会を開催しました。

- (1) 開催日時 平成27年2月19日(木) 19:00~21:00
- (2) 開催場所 文化センター共同ホール(久留米市野中町1015)
- (3) 参加者数 416名
- (4) 研修内容 講師:福岡東医療センター 呼吸器科 田尾 義昭 呼吸器感染部長
演題:「医療機関における院内感染対策について
～結核感染予防対策、エボラウイルス病感染予防対策など～」

3 医療安全に関する情報の提供

厚生労働省等からの医療安全に関する通知、その他医療安全に関する情報を医療機関へ提供しました。

平成26年度 久留米市保健所事業報告

衛生対策課

課名		衛生対策課		
チーム名		食品衛生チーム	生活衛生チーム	試験検査チーム
通年事業		○食品営業新規・更新許可関係業務 ○食品収去検査(毎週) ○消費者・業者への衛生教育(随時) ○食品営業関係施設等監視業務	○犬の登録、狂犬病注射関係業務 ○犬の捕獲、犬猫の引取・保護関係業務 ○犬猫の譲渡 ○動物取扱業関係受付・監視・更新業務 ○特定動物関係受付・監視業務 ○動物飼養施設監視 ○生活衛生営業等関係受付業務 ○水道、温泉等関係受付・監視業務 ○理容所・美容所・クリーニング所監視	○保健所業務に係る試験検査 ○食品関係検査 ○食品収去検査(毎週) ○食中毒検査 ○感染症関係検査 ○特定感染症検査 ○感染症患者接触者等検査
26年	4月		○犬の狂犬病集団予防注射	
	5月	○食品営業許可更新受付 ○九州各県・政令指定都市・中核市生活衛生主管課長会議	○九州各県・政令指定都市・中核市生活衛生主管課長会議	
	6月	○集団給食施設監視指導(保育所、施設～7月) ○食品衛生責任者養成講習会	○游泳用プール監視(～7月) ○福岡県保健所設置市温泉行政担当者会議 ○久留米市地区環境衛生連合会理事会 ○建築物飲料水貯水槽清掃作業従事者講習会 ○福岡県美容組合研修会	○外部精度管理検査受検2回 ○HIV検査普及啓発週間(夜間検査)
	7月	○夏期食品一斉取締 ○食中毒予防講習会(2回) ○第1回食品衛生監視員研修会 ○製菓衛生師試験受付	○九州・山口政令市生活衛生主管課長会議 ○福岡県保健所設置市温泉担当者会議 ○飼い主のいない猫の不妊・去勢手術支援事業の開始(～3月) ○全国動物管理関係事業所九州ブロック会議 ○九州各県・指定都市等乳肉衛生担当係長会議 ○ドッグラン庁内調整委員会 ○レジオネラ属菌汚染防止対策講習会 ○県ペットスケッチコンクール(～9月)	○外部精度管理検査受検2回
	8月	○食品営業許可更新受付 ○食品衛生月間事業	○どうぶつ「YOU・友」事業推進協議会総会 ○生活衛生関係営業指導職員研修会 ○特定建築物監視(～9月) ○福岡県狂犬病対策協議会 ○動物愛護ボランティアとの意見交換会	○家庭用品検査
	9月	○ろ店一斉監視及び夜間営業更新調査 ○九州地区食品衛生担当係長及び担当者会議	○どうぶつYOU友フェスティバル ○九州・山口ブロック犬等の輸出入検疫に関する連絡協議会 ○クリーニング師試験	
	10月	○集団給食施設監視(病院～11月) ○食品衛生責任者養成講習会	○第一種動物取扱責任者研修会 ○福岡県動物慰霊祭 ○久留米市地区環境衛生連合会大会 ○水道施設監視(～12月) ○ドライクリーニング調査(～11月) ○生活衛生同業組合活動推進会議 ○ドッグラン庁内調整会議	○外部精度管理検査受検(2回)
	11月	○食品営業許可更新受付 ○年末食品一斉取締	○全国動物管理関係事業所協議会 ○犬のしつけ教室 ○九州各県・政令市等水道担当係長会議 ○九州各県・政令指定都市・中核市生活衛生主管係長会議 ○生活衛生同業組合活動推進月間 ●Dr. プンブン(職業体験ブース) ○環境連統合についての4町説明会 ○福岡県美容組合自主衛生管理講習会 ○福岡県共通感染症対策訓練 ○動物愛護ボランティアとの意見交換会	○外部精度管理検査受検
	12月	○年末食品一斉取締 ○フグ早朝監視	○犬のしつけ教室 ○九州地区狂犬病診断研修会	○世界エイズデー啓発(夜間検査)
	27年 1月	○フグ処理師試験受付 ○集団給食施設監視指導(学校)	○福岡県動物愛護・管理センター会議 ○公衆浴場監視(～3月)	●浴槽水検査
	2月	○食品営業許可更新受付 ○食品衛生責任者養成講習会 ●HACCP導入状況調査	○狂犬病予防業務担当者会議(厚労省) ○動物愛護管理行政主管課長会議(環境省) ○筑後ブロック動物行政担当者会議 ○生活衛生関係技術担当者研修会 ●競輪場における野良猫の一斉TNR ○防除作業従事研修	●浴槽水検査
	3月		○久留米市地区環境衛生連合会理事会	●浴槽水検査
備考				

●は新規事業

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	衛生対策課（食品衛生チーム）
重点事業項目名	1 食品等事業者による自主管理体制構築の推進 2 市民への食中毒予防のための啓発活動の実施
1 目的 食の安全・安心を確保するには、行政による監視指導のみならず食品等事業者が自ら衛生管理体制を構築し実践していくことが重要です。また、市民においては、食による健康被害を防ぐために食品衛生に関する正しい知識を持つことが重要です。 食品等事業者に対し、自主管理体制構築の推進を図るとともに、市民への食中毒予防のための啓発活動に努めました。 2 具体的な取り組み内容 (1) 食品等事業者による自主管理体制構築の推進 食品営業関係者に対しては、食品衛生協会（事業者が自主的に食品衛生の普及啓発を行っている任意団体）と協力しながら食品衛生責任者を養成する「食品衛生責任者養成講習会」（3回）、自主衛生管理の推進を図るため「食中毒予防講習会」（2回）を開催しました。また、監視指導業務をとおして、食品等事業者に対し自主管理体制構築のための助言及び指導を実施しました。 (2) 市民への食中毒予防のための啓発活動の実施 求めに応じ「出前講座」として食中毒予防の衛生講習会を実施したほか、ホームページによる広報、広報誌の「広報くるめ」等により注意喚起や情報提供を行いました。また、8月食品衛生月間事業の一環として、水の祭典パレードにおいて街頭キャンペーンを実施しました。	

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名 (担当チーム名)	衛生対策課 (生活衛生チーム)
重点事業項目名	1 生活衛生関係施設に起因する危害防止 2 狂犬病対策の充実と動物愛護事業の推進
1 目的 (1) 理・美容所や公衆浴場等生活衛生関係施設において衛生上の措置が不適切であると、利用者等へ健康危害が生じることがあります。 施設の衛生状態については立入の際に目視で確認していますが、今後はより有効な手法（行政検査等）を取り入れ監視の強化を図ることが重要です。 (2) 現在日本は狂犬病の清浄国ですが、平成25年に台湾で野生動物への感染が確認されたことから、今まで以上に狂犬病対策の重要性が高まっています。 また、動物愛護関連では、犬・猫の殺処分数削減、野良猫対策、不適切な飼養者や動物取扱業者への指導啓発、災害時の対策等多くの課題をかかえています。 平成26年4月に「福岡県動物愛護推進計画」が見直されたのを受け、これらの課題に対し長期的な視点に立って解決を図っていく必要があります。 2 具体的な取り組み内容 (1) レジオネラ症予防を目的とした監視指導の強化 レジオネラ肺炎等の発生リスクの高い入浴施設等については、毎年監視指導を実施していますが、これを強化する目的として、平成27年1月から立入時に浴槽水を採取してレジオネラ属菌の行政検査を実施しています。 (2) 狂犬病対策の充実と動物愛護事業の推進 狂犬病対策については、狂犬病予防注射率の精度の向上を目的として、死亡犬等の登録抹消の推進による畜犬登録数の整理に努めています。 また、狂犬病が疑われる犬が発生した際を想定し、外部研修（犬の脳採材や遺伝子検査等）を通じ、獣医職の技術の向上に努めています。 動物愛護関係では、県の推進計画における新たな数値目標（引取り数の削減）の達成に向けてボランティア等との意見交換を通じ対応を検討しています。 特に重要度の高い野良猫対策については、25年度から獣医師会と協働で開始した「所有者のいない猫の不妊・去勢手術支援事業」を今年度も継続し、目標である100頭の不妊去勢手術の支援を行いました。また、2月には、競輪場その他特に生息数の多い地域をターゲットとし、合計146頭のTNR（Trap 捕獲－Neuter 不妊－Return 戻す）を実施するなど対策に努めています。	

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	衛生対策課 (試験検査チーム)
重点事業項目名	健康危機管理における検査体制の充実

1 目的

健康危機管理において、保健所の実施する試験検査の最も大きな役割は原因の究明です。久留米市衛生検査センターでは、関係機関と連携し、健康危機管理に対する情報収集と正確かつ迅速な科学的データの提供を確実に実施するとともに、検査体制の充実に努めました。

2 具体的な取り組み実績

(1) 食中毒危機管理における検査体制の充実

久留米市衛生検査センターでは、食中毒(疑い)発生時の原因を調査するための試験検査を平成23年度より実施しています。平成24年度より新たに追加となった2項目を含め、細菌やウイルス等20項目以上の検査ができる体制を整えています。平成26年度には遺伝子検査機器を追加整備し、より迅速で効率的な検査が実施できるよう充実を図りました。

○食中毒(疑い)検査実施状況(4月～1月実績)

	検体数	項目数
食品	1	19
便	56	1,026
ふき取り	19	317
合計	76	1,362

(2) 公衆浴場等の監視体制及びレジオネラ症対策の充実

公衆浴場法等に基づく立入検査において、浴槽水等を採水して水質検査を実施できる体制を整えました。平成26年度は2月末までに2施設(12検体)に対して水質検査を行い、結果に応じて指導を行いました。

また、公衆浴場等が関与すると疑われるレジオネラ症患者が発生した場合に、原因究明及び被害拡大防止のための調査を市独自で実施できる体制も整備しました。

課名		保健予防課	
チーム名		精神保健チーム	感染症チーム
			感染症事業 予防接種事業
通年事業		○(緊急)措置入院業務 ○精神科医による現地診察 ○精神保健福祉法に基づく医療保護入院届等經由事務および市外の入院患者に関する管轄保健所への情報提供事務 ○入院患者事故報告届出受付・対応 ○精神保健福祉相談(週1回) ○精神保健電話相談・来所相談 ○保健師・精神保健福祉士による家庭訪問指導 ○医療観察法ケア会議 ○ケース検討会 ○精神保健職親(社会適応訓練)事業(職親事業所及び利用者支援) ○自死遺族のつどい「わかち合いの会」(毎月第4火曜) ○市民活動団体への支援	○結核等事例検討会(毎週) ○結核患者接触者健康診断 ○感染症診査協議会結核専門部会(月2回) ○結核医療費給付事務 ○応急入院・入院勧告等措置業務 ○結核専門病院との定例カンファレンス ○結核DOTS事業 ○結核定期病状調査(3ヶ月毎) ○結核指定医療機関の申請・指定業務 ○感染症発生動向調査事業 ○感染症発生時の積極的疫学調査 ○感染症に係る電話・来所相談 ○新型インフルエンザ対策事業 ○エイズ・性感染症・肝炎の相談・検査(毎週) ○風しん抗体検査(1.3火曜)
			○定期予防接種実施(通年) ○A類疾病:ヒブ・小児用肺炎球菌・BCG・四種混合・二種混合・MR・日本脳炎・子宮頸がん予防 ○対象者への通知、勧奨 ○予防接種電話相談・来所相談 ○予防接種依頼書受付発行(母子健康手帳再発行受付) ○母子定例会出席(毎月1回) ○出生届出者及び転入者予防接種・子育てセット作成・配布(健康推進課・保健センター等) ○予防接種副反応届出受付、対応 ○予防接種事故報告書受付、対応 ○長期療養者受付、紹介状発行 ○窓口、訪問等の関係者研修会実施 ○予防接種チェック、医療機関間問い合わせ ○システム入力業務の内容変更、調整 ○健康被害給付事業、支払い等 ○ミニ研修会開始(1回/月)
26年	4月	○セーフコミュニティ校区説明会	○感染症診査協議会委嘱状交付 ○定期予防接種委託実施 ○日脳2期(高校3年生相当年齢)未接種者個人通知 ○日脳1期(小学2、3年生)未接種者個人通知 ○MR2期(年中児)個人通知 ○日脳1期追加(4歳児)個人通知(毎月)
	5月	○セーフコミュニティ校区説明会	○二種混合小学校を通して通知
	6月	○セーフコミュニティ自殺予防対策委員会 ○セーフコミュニティ校区説明会	○予防接種担当者会議(厚生労働省) ●水痘、高齢者の肺炎球菌定期化準備
	7月	○セーフコミュニティ校区説明会 ○自殺対策庁内連絡会議・庁内調整会議 ○自殺対策連絡協議会 ●ゲートキーパー養成講座(民生委員)	○MR1期、2期保育園・幼稚園ポスター配布
	8月	○セーフコミュニティ校区説明会 ○職域メンタルヘルス連絡会議	○九州各県政令指定都市等結核行政担当者会議
	9月	○自殺予防週間街頭啓発 ○生活・法律・こころの相談会(於:ハローワーク) ○セーフコミュニティ校区説明会 ●自殺対策パネル展(市内大学)	○結核予防週間普及啓発事業 ○エボラ出血熱患者等搬入訓練(第一種感染症指定医療機関) ○就学前健診チラシ配布 ○予防接種関係者研修会開催 ●水痘、高齢者の肺炎球菌対象者へ個別通知 ●新ワクチン受託医療機関向け説明会
	10月	○職域メンタルヘルス講演会 ○かかりつけ医および産業界のためのうつ病アプローチ研修 ●自殺対策パネル展(市内大学)	○感染症予防対策研修会 ○ホームレス健診 ○結核対策研修会(医療機関等) ○久留米保健医療圏新型インフルエンザ等対策会議 ○県・市・検疫所・第一種感染症指定医療機関感染症対策会議 ○九州山口九県感染症関係機関連絡会議 ○防護服着脱訓練 ○結核コホート検討会
	11月	○精神科病院実地指導 ○かかりつけ医および産業界のためのうつ病アプローチ研修 ○こころの健康づくり大会	○性的健康週間/世界エイズデー(11/25～12/1) ○エボラ出血熱対策関係課長会議 ○県・市感染症対策会議 ○感染症指定医療機関連絡会議
	12月	○精神科病院実地指導 ○うつ病自殺対策講演会	○世界エイズデー啓発事業(夜間検査) ○エボラ出血熱疑い患者対応実地訓練(所内) ○エボラ出血熱患者搬送訓練(第一種感染症指定医療機関等)

課名		保健予防課		
チーム名		精神保健チーム	感染症チーム	
			感染症事業	予防接種事業
27年	1月	○精神科病院実地指導 ●セーフコミュニティフェスタ ○ホームレス実態調査同行(健康チェック) ○自殺対策職員研修	○結核患者管理システム整理(年報作業) ○陰圧テント設営訓練 ○鳥インフルエンザ健康調査訓練 ○感染症診査協議会	
	2月	○精神科病院実地指導 ○自殺者事例検討(生活支援課との検討会) ●ゲートキーパー養成講座(理容師) ○ゲートキーパー養成講座(民生委員)	○エボラ出血熱対策に係る関係機関会議 (県・市・第一種感染症指定医療機関)	○MR2期未接種者勧奨(個人通知) ○二種混合未接種者勧奨(個人通知)
	3月	○決算期自殺対策街頭啓発 ○自殺対策パネル展(市役所・市立図書館) ○生活・法律・こころの相談会(於:ハローワーク) ○関係機関連絡調整会議		○予防接種週間(3/1~3/7)
備考				

●は新規事業

担当課名(担当チーム名)	保健予防課(精神保健チーム)
重点事業項目名	自殺対策事業
① 事業概要 全国の自殺者数は、平成 10 年に年間 3 万人を超え、その後も同じ水準で推移していましたが、平成 24 年以降は減少傾向を示しています。自殺の背景には、経済・生活問題、健康問題、家庭問題など様々な要因が複雑に関係するといわれており、自殺対策は社会全体で取り組むべき問題といえます。 当市では、自殺総合対策大綱の「自殺を防ぐには精神保健的な視点だけでなく、社会・経済的な視点を含む包括的な取組が重要である」とされている事を踏まえ、関係機関と連携した取り組みを強化し進めてきました。今年度は、更に様々な機会を捉え、地域に出向き自殺の危険を示すサインに気づき適切な相談窓口につなげることができる人材「ゲートキーパー」の養成を重点的に実施しました。 2 具体的な取組み (1) 普及啓発の実施 市民や事業所等に対し、自殺やうつ病等に関する正しい知識を深めるためのうつ病・自殺対策講演会や自殺予防週間等での街頭啓発、啓発チラシの配布による普及啓発を実施しました。 (2) 関係機関との連携強化 47 関係機関で構成する自殺対策連絡協議会や庁内連絡会議、職域メンタルヘルス連絡会議等を開催し、庁内外の関係機関との情報の共有化及び連携の強化を図りました。 (3) 人材育成および地域における支援体制の強化等 ア 今年度は民生委員や理容師など対象を特化したゲートキーパー養成講座を開催しております。また、消費生活センターの出前講座に同行してゲートキーパーの啓発を積極的に行うなど、平成 26 年度は 135 回 4,823 人のゲートキーパー養成に努めました。(H27/2/26 現在) イ うつ病等の早期発見・早期治療を図るため、かかりつけ医と精神科医の連携を強化する「かかりつけ医および産業医のためのうつ病アプローチ研修」を開催しました。参加医師のメリットとして、産業医実地ポイント取得可能としたため、より多くの医師の参加が得られました。(延 191 人) ウ 市職員もゲートキーパーとしての役割を認識し、窓口業務等において適切な対応を行えるよう事例検討を加え、より実践的な内容として職員研修を実施しました。(157 人) (4) 自死遺族支援(自死遺族のつどい「わかち合いの会」) 自殺した者の遺族が、互いに語り合い、悲しみや自責の念から回復していくことを目的に、自死遺族のつどい「わかち合いの会」を開催しました。また、市内で活動されている自主グループ「九州モモの会」と情報交換を行い、連携を図りました。	

平成 26 年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名 (担当チーム名)	保健予防課 (感染症チーム)
重点事業項目名	結核対策における強化事業
1 目的 久留米市における結核の現状は、平成 24 年の罹患率が 26.2 であり、国 (16.7) ・県 (16.7) を大きく上回っています。平成 25 年においては、罹患率が 13.6 となり、昨年の数値や国 (16.1) ・県 (16.0) と比較しても大幅に減少しております。 しかし、その発生状況をみると、高齢者から働き盛り世代まで幅広い年代や外国人などの新規結核患者が発生しており、また、<u>診断時には、約 43% の患者が排菌状態となっています。</u> さらに結核発病リスクの高い糖尿病や胃がん術後等の患者においては、発病から排菌までの期間が短いことも推察されるため、早期発見・早期診断を推進し、感染拡大の防止に繋がるよう結核対策の強化に努めました。 2 具体的な取り組み内容 (1) 医師に対する結核研修会の実施 (4 医師会・市主催) 開催日時：平成 26 年 10 月 31 日 117 名参加 「結核発病リスクの要因把握と早期診断～日常診療や職場健診で結核を疑うポイント」 独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター医師 (2) 外国人に対する啓発事業 学校や関係機関と連携し英語や中国語による結核のチラシを作成し、啓発すると共に窓口等への設置を依頼 (3) 結核予防週間 (9 月) 啓発ポスター・パンフレットの配布 校区コミュニティセンターや市内の医療機関・高齢者福祉施設など 668 箇所 (4) 働き盛り世代への啓発事業 商工会議所月刊誌 (会議所ニュース) に結核のチラシ折込み 5,000 部 市内事業所に結核のチラシやポスターを配布 (5) 施設職員への結核研修会の実施 障害者施設・高齢者施設職員を対象とした研修会の実施 (6) 出前講座等による市民への普及啓発 「知れば防げる！感染症」の出前講座や市の広報やホームページにて啓発を実施	

担当課名(担当チーム名)	保健予防課(感染症チーム)
重点事業項目名	水痘、高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種化
1 事業概要 予防接種法に基づいて、市民への各種予防接種を実施することで、感染症に対する免疫確保を図り、重症化予防やまん延防止と感染予防に努めています。 平成 26 年 10 月から、水痘及び高齢者の肺炎球菌ワクチンが予防接種法に基づく定期予防接種に位置づけられたことに伴い、体制の整備及び感染予防とまん延防止の推進に努めました。 また、水痘に関しては、定期の対象とならなかった乳幼児への市独自の公費助成を実施し、発生リスクの高い乳幼児への感染予防を図りました。(※3, 4 歳児の 2 回目、H21. 4. 2 以降に生まれた 5 歳児の 1, 2 回目を市独自で助成) 2 具体的な取組み (1) 水痘、高齢者の肺炎球菌ワクチン定期接種の円滑な導入 ア 市内各医師会と連携を図り、実施要領に準じ、対応を統一しました。 イ 広報くるめやホームページの掲載、医療機関・保健所・保健センター等へのポスター掲示等により市民への広報周知の充実を図り、啓発に努めました。 (2) 個人通知を実施 ア 水痘…定期対象者及び市独自の公費助成対象者へ通知、予防接種・子育てセット、4 か月児～3 歳児健診通知にチラシ同封 イ 高齢者の肺炎球菌…対象者へ通知 (3) 予防接種相談対応する職員のスキルアップ 窓口や電話等で対応する関係職員への情報提供と指導内容の平準化を目指すため、月に 1 回のミニ研修会を開催し、資質向上に努めました。 (4) 関係機関等への研修、情報提供 ア 母子保健、予防接種、地域保健、子育て支援に係る関係者への予防接種の理解を深めるため、「母子保健・予防接種関係者研修会」を実施しました。 イ 母子定例会、産科医療機関との連携会議、感染症対策研修会(障害者・高齢者施設)において新たな定期の予防接種について情報提供を実施しました。 ウ 医師会主催の予防接種講習会や説明会、非医師会受託医療機関向けの説明会において、2 ワクチンの定期化に関する説明を実施しました。 (5) 予防接種事故の予防 各医師会との連携により未然防止に努めました。	

平成26年度 久留米市保健所事業報告

健康推進課

課名	健康推進課		
チーム名等	母子保健チーム	健康増進チーム	
		健康増進関係事業	栄養関係事業
通年事業	○乳幼児発達相談（ことばの相談 8回／年）・気になるお子さんの相談 24回／年） ○発達フォロー教室（親子のびのび教室 30回／年） ○女性の健康相談（12回／年） ○未熟児養育医療の給付（随時） ○育成医療の給付（随時） ○不妊に悩む方への特定治療支援事業（随時） ○受胎調節実施指導員指定事業（随時） ○未熟児、ハイリスク児家庭訪問指導（随時） ○低出生体重児教室（リトルにこにこ親子教室 10回／年） ○母子健康手帳の交付（随時） ○妊婦健診（個別） ●妊婦歯科健診 ○妊娠期からのケアサポート事業 ○乳幼児健診（集団・個別）（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児） ○乳幼児健診未受診者フォロー（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児） ○離乳食教室（前期12回／年、前中期10回／年、後期9回／年） ○プレパパママ教室（28回／年） ○すこやかマタニティ（35歳以上初産）3回／年 ○ママパパきもち楽々相談（母と子のこころの相談 22回／年） ○1歳児歯科健診（はじめての歯の健康教室 12回／年） ○幼児安全法講習会（5回／年） ○妊娠ほっとライン（随時） ●思春期保健対策事業	○特定健康診査、特定保健指導 ○各種がん検診（胃がんリスク検査を含む） ○生活習慣病予防健康診査 ○健診普及啓発事業 ○お腹まわりスッキリ相談 ○総合健康相談 ○重症化予防支援事業 ○まちかど栄養・糖尿病予防健康相談 ○校区等ウォーキング事業支援 ○ラジオ体操推進事業 ○くるめすこやか推進会育成（助成） ○結核検診（65歳以上） ○原爆被爆者援護事業 ○血圧改善支援事業 ○特定疾患治療研究事業申請・受付 ○在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業申請・受付 ○難病電話・来所相談 ○難病患者訪問 ○難病関係者ケア会議 ○筑後ブロック難病担当者会議（年2回） ○久留米大学病院難病支援調整会議（年4回） ○事例検討会 ○肝炎治療特別促進事業申請・受付 ○先天性血液凝固因子障害等治療研究事業申請・受付 ○石綿健康被害救済給付事業申請・受付 ○在宅医療推進事業（電話・来所相談、出前講座） ○小児慢性特定疾患治療研究医療給付（随時） ○小児慢性特定疾患対策協議会（毎月） ○筑後ブロック小児慢性特定疾患担当者会議（年2回）	○特定給食施設巡回指導（6～2月） ○食品の栄養成分表示の指導 ○調理師免許申請等受付 ○外食栄養成分表示店の促進（1月～くるめ健康づくり応援店事業） ○栄養相談（毎月第1木曜） ○専門栄養教室（未熟児・多胎児） ○離乳食教室（前期12回／年、前中期10回／年、後期9回／年） ○1歳児栄養相談（12回／年） ○ゆったり子育て栄養相談 ○高校生・大学生の食育推進 ○食生活改善推進員協議会育成（助成） ○たばこ対策事業 ○国民健康・栄養調査
		○地域健康づくりリーダー育成 ・食生活改善推進員養成教室（6～3月） ・すこやか推進員養成教室（8～10月） ○食生活改善推進員協議会フォロー教室（6～3月） ○熱中症対策	

●は新規事業

（※年間スケジュールは次ページ参照）

課名		健康推進課	
チーム名等		母子保健チーム	健康増進チーム
			健康増進関係事業 栄養関係事業
26年	4月		○市民ラジオ体操の集い ○在宅医療従事者研修会(第1回) ○小児慢性特定疾患継続手続き(4～5月) ●調理師願書配布(～6月)
	5月		○健康手帳送付 ○まちかど栄養・糖尿病予防健康相談(～3月) ○在宅医療従事者研修会(第2回) ○禁煙週間啓発事業(5月31日～6月6日) ○特定給食施設等研修会
	6月	○母子保健関係者研修会	○生活習慣病予防健康診査(～11月)(35～39歳及び生活保護受給者等) ○各種がん検診、結核検診(～11月、●レディースデーの実施4日) ○特定健康診査(～3月) ○歯の健康フェスタ ○難病従事者研修会(第1回) ○食生活改善推進員養成教室(～2月) ○食生活改善推進員フォロー教室(第1回、延べ3回実施) ○特定給食施設巡回指導(～2月)
	7月		○難病従事者研修会(第2回) ○在宅医療従事者研修会(第3・4回) ○小児慢性特ピアカウンセリング事業
	8月	●第1回思春期保健ワークショップ	○在宅医療従事者研修会(第5回) ○難病医療相談事業(第1回) ○特定保健指導(～3月) ○すこやか推進員養成教室(～10月) ○特定給食施設等研修会
	9月	○多胎児育児支援教室 ●第2回思春期保健ワークショップ	○地域健康づくりリーダー育成(～2月) ○血圧改善支援事業(～3月) ○在宅医療に関する市民公開講座(第1回) ○難病従事者研修会(第3回) ○難病医療相談事業(第2回) ○食生活改善推進員フォロー教室(第2回)
	10月	○母子保健関係者研修会及び産科医療機関との連携会議 ○育児支援教室	○がん検診啓発街頭キャンペーン(10月1日) ○早朝1万歩ウォーク&市民ラジオ体操の集い ○指定難病(旧特定疾患)新制度への更新申請受付・相談(～12月) ○小児慢性特定疾患新制度への更新手続き(～12月) ○食生活改善推進員フォロー教室<第3回> ○調理師研修会
	11月	○育児支援教室 ●第3回思春期保健ワークショップ	○健康くるめ21フェスタ(11月10日) ○食育啓発事業(久留米大学学園祭)11月1日 ○くるめ食育フェスタ2014(11月8,9日) ○国民健康栄養調(11月18,19日)
	12月	○母子保健関係者研修会 ○育児支援教室 ●思春期保健講演会	○お腹まわりスッキリ相談(～3月)
27年	1月		○健康づくり実践優良団体表彰(1月18日) ○在宅医療に関する市民公開講座(第2回) ○食生活改善推進員フォロー教室(第4回)
	2月		○在宅療養支援計画策定・評価会議 ○難病訪問指導(診療) ○特定給食施設等実態調査
	3月	○母子保健関係者研修会 ○多胎児育児支援教室 ○産科医療機関との連携会議 ●第4回思春期保健ワークショップ	○特定給食施設等研修会 ○地域活動栄養士等研修会 ○食生活改善推進員フォロー教室(第5回)
備考			

●は新規事業 毎月実施事業については掲載除く

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	健康推進課(母子保健チーム)
重点事業項目名	母子保健事業の充実
1 事業概要 妊娠期から、出産後の育児期までのあらゆる機会を通じて、情報提供や指導、相談等の事業を実施し、出産や育児に係る不安の解消・軽減を図るとともに、専門的なサービスが必要なケースについては、庁内の所管部局や関係機関等に繋ぐなど、きめ細やかな対応に取り組みました。また、医療機関などの関係機関とも連携を図りながら、効果的な支援を展開しました。また、妊娠の低年齢化及び20歳未満の人工妊娠中絶件数の増加傾向を踏まえ、関係機関と連携の上、思春期保健対策に向けた事業を実施しました。	
2 具体的な取り組み (1) 妊娠・出産支援の充実 ア 母子健康手帳の交付 妊婦との最初の接点である妊娠届時において、問題の早期把握及び早期支援を図るため、妊娠届の受付及び母子健康手帳の交付窓口を保健所・各保健センターに集約し、窓口での対応を専門職による完全実施としました。 母子健康手帳交付件数：2,606件(平成27年1月末現在) イ 不妊に悩む方への特定治療支援事業 体外受精及び顕微授精による不妊治療の費用の一部を助成しました。 申請件数：270件(H27年1月末現在) ウ 女性の健康相談 不妊や更年期の悩みに対して相談に応じ、精神的な安定を図るとともに、必要な支援を行いました。 相談件数：6件(H27年1月末現在) エ 望ましい妊娠等の相談体制の充実 「妊娠ほっとライン」(平成24年度開設)からの電話やメールに専門職が対応し、必要な助言を行い、必要に応じて関係機関に繋ぎました。また、広報カードを作成し、公共機関や商業施設等の窓口に設置し、市民への啓発を図りました。 相談件数：72件(H27年1月末現在) オ 医療機関との連携強化 医療機関との連携を強化し、支援が必要な方の早期発見を図り、早期支援に努めました。中でも、妊娠期からのケアサポート事業(H24年度から連携機関を小児科医療機関まで拡大)を通じて、医療機関との情報共有に努め、問題の早期把握、早期支援を図りました。 産科医療機関連携件数：108件(H27年1月末現在) 小児科医療機関連携件数：22件(H27年1月末現在) カ 妊婦健康診査 安全な妊娠・出産のため、14回の妊婦健診助成を実施し、経済的な理由により健診を十分に受診できないということのないよう支援しました。	

(キ) 妊婦歯科健康診査【新規】

歯周病の妊婦は低出生体重児を出産するリスクがあるため、妊婦を対象とした歯科健康診査を実施し、低出生体重児の出産リスクの軽減を図りました。

(ク) すこやかマタニティ・プレママパパ教室【充実】

妊婦及び家族を対象とした健康教育を実施しました。また、プレママパパ教室については、希望者が多いという状況を踏まえ、回数を増やし実施しました。

開催回数：すこやかマタニティ教室2回、

プレママパパ教室12回・24回（H27年1月末現在）

(2) 育児支援の充実

ア 乳幼児健診

4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児に対し、各々の月齢・年齢に応じた健診を行い、幼児の健全な育成を図りました。

受診者数：4か月児健診 2,073人、10か月児健診 2,025人、

1歳6か月児健診 2,088人、3歳児健診 2,062人（H26年12月末現在）

イ 乳幼児健診要フォロー者への対応

健診内容のスクリーニングを強化し、健診によってフォローが必要と認められる者には、電話相談、各種相談案内、関係機関への紹介等を行うとともに、必要に応じて各種教室への参加を促すなど、母子に対しての早期の支援を行いました。

件数：4か月児健診：450件、10か月児健診：345件、1歳6か月児健診：529件、

3歳児健診：643件（H26年12月末現在）

ウ 乳幼児健康診査未受診者への対応

4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診未受診者に対して、電話連絡や家庭訪問等を行うことにより、受診率の向上を図るとともに、地区担当保健師、庁内関係部局及び関係機関との連携を図り、乳幼児虐待の未然防止にも努めました。

件数：4か月児健診：69件、10か月児健診：109人、1歳6か月児健診：129人、

3歳児健診：470人（H26年9月末現在）

(3) ハイリスク児への育児支援の充実

ア 医療給付の実施

ハイリスク児などを対象として、小児慢性特定疾患治療研究事業医療費、育成医療費、未熟児養育医療費などの医療給付を行うとともに、相談や訪問等の支援を実施しました。

件数：小児慢性特定疾患治療研究事業医療費：1,740件、育成医療費：114件、

未熟児養育医療費：48件（H27年1月末現在）

イ 発達障害児への支援【充実】

発達障害児に対する相談（きもち楽々相談・気になるお子さん相談・ことばの相談・親子のびのび教室）を実施しました。併せて、発達障害育児支援教室を実施しました。

相談件数：きもち楽々相談：41件、気になるお子さん相談：66件、

ことばの相談：53件、親子のびのび教室：132件（H27年1月末現在）

ウ 相談・教室事業の実施

低出生体重児を持つ保護者を対象に、育児支援教室（リトルにこにこ教室）などの相談教育を実施しました。また、多胎児サークル活動への支援を実施しました。

参加者数：40人（H27年1月末現在）

⑤ 虐待の予防

要支援家庭や要保護児等については、事例検討会などを通じて、庁内関係部局や関係機関と密な連携をとり、虐待予防に努めました。

- ・家庭子ども相談課：要保護児童対策地域協議会 月1回
- ・" ケース会議 月1回
- ・子ども育成課：ケース会議 月1回

(4) 思春期保健対策の充実【新規】

養護教諭や思春期にある児童生徒の保護者が、保健の観点から性や妊娠・出産についての正しい知識を身に付けるための講演会や、養護教諭などの指導者の資質向上及びサポート体制の構築を目的としたワークショップを行いました。また、市内の小中学校などの関係機関からの要望に応じて、性（生）に関する出前講座を実施しました。

ア 思春期保健講演会

- ・ 日 時：平成26年12月20日（土）10時～12時
- ・ 場 所：えーるピア久留米視聴覚ホール
- ・ 演 題：思春期のこころと性～豊かにはぐくむ「性」と「生」～
- ・ 講 師：岩室 紳也氏（ヘルスプロモーション推進センターオフィスいわむろ代表）
- ・ 参加者：105名

イ 思春期保健ワークショップ

実施回数：3回 参加者：78名（H27年1月末現在）

ウ 性に関する出前講座

実施回数：8回 延べ人数695名

※セーフコミュニティ推進のための中学校出前サロン事業（計2回延べ人数165名）を含む。

平成26年度 久留米市保健所重点事業

担当課名(担当チーム名)	健康推進課(健康増進チーム)
重点事業項目名	生活習慣病予防対策

1 事業概要

40歳から74歳までの国保加入者に対する特定健康診査・特定保健指導、各種がん検診、及び35歳から40歳未満までの方などを対象とした生活習慣病予防健診等を推進・実施するとともに、第2期「健康くるめ21」計画に基づく、生活習慣病の発症予防及び重症化予防の推進のため、地域に根ざした総合的な事業を展開し、健康で安心して暮らすことのできるまちづくりの実現に努めました。

2 具体的な取り組み

(1) 健康診査の実施

生活習慣病予防の観点やがん等の疾患の早期発見のため、各種健康診査を実施しました。

健診種別	対象者数	受診者数	受診率	
生活習慣病予防健診	12,144	1,052	8.7	
胃がん検診	103,712	4,216	4.1	
子宮頸がん検診	78,737	15,760	20.0	
乳がん検診	39,658	7,724	19.5	
肺がん検診	103,712	20,437	19.7	
大腸がん検診	103,712	18,639	18.0	
前立腺がん検診	33,937	5,976	17.6	
骨粗しょう症検診	10,250	1,616	15.8	
8020 歯っぴー検診	15,606	489	3.1	
胃がんリスク検査	4,544	943	20.8	(H26年2月27日現在)
久留米市国保特定健康診査	50,192	16,817	33.5%	※H25年度実績

ア 特定健康診査・特定保健指導

生活習慣病予防を目的に、40から74歳(75歳の誕生日前日まで)の国保加入者を対象に、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査を実施しました。

また、特定健康診査の結果、「動機付け支援」又は「積極的支援」に該当する方を対象に、特定保健指導を実施しました。

特定保健指導：対象者数 2,207人 修了者数197人 利用率8.9%

イ 各種がん検診等【充実】

がん等の疾患を早期に発見し、適切な医療へ結びつけるための検診また、集団検診においては、女性を対象としたレディースデーを4日間実施し、若い世代や新規の健診受診者の取り込みなどの効果がありました。(受診者数883人)

ウ がん検診推進事業

乳がん・子宮頸がん検診及び大腸がん検診において、一定の年齢に達する方を対象として、個別に無料クーポン券を配布し、受診率の向上に努めました。また、乳がん・子宮頸がん検診については、過去の無料クーポン対象者で、クーポン未受診者の方も対象に加え、事業を実施しました。

エ 生活習慣病予防健診

35歳から39歳及び40歳以上の各医療保険に該当しない方を対象に特定健康診査と同様の健診を実施しました。また、新たにハガキによる受診勧奨を実施したことにより、受診率が前年度よりも5.7ポイント増加しました。【新規】

オ 女性特有のがんの啓発

女性特有のがん検診啓発キャンペーンを実施しました。

(9/28 ゆめタウンくるめ内広場)

カ 健康くるめ21フェスタでのがん予防啓発イベントの実施(11/9 えーるピア久留米)

検診車による子宮頸がん及び乳がんの無料検診を実施しました(受診者数:子宮頸がん検診68名、乳がん検診28名)。また、乳がんの検診受診者に対象とした、講話を開催しました(参加者数:28名)。

(2) 健康教育・相談に関する事業の実施

ア お腹まわりスッキリ相談

生活習慣病予防健診を受診した結果、メタボリックシンドロームに該当する方及び予備群該当者、早期に医療の受療が必要と思われる方を対象として、保健師による生活習慣病の発症及び重症化予防のため個別保健指導を実施しました。

対象者:107人 電話面接実施:実施中(H25年度 実施率58.3%)

イ まちかど栄養・糖尿病予防健康相談

糖尿病療養指導士による血圧・血糖測定及び健康相談を実施しました。

実施回数13回 参加者数1,505人【平成27年1月末現在】

ウ 重症化予防支援事業

特定健康診査の結果、要医療域で未治療に該当する方に対して、早期の医療介入(治療)及び適切な生活習慣改善を行うよう保健指導を実施し、疾患の重症化予防に努めました。

対象者57人 介入中34人 【平成27年1月末現在】

(3) 健康くるめ21計画の推進

ア ウォーキングの推進

市内全46校区のウォーキングに対して、助成を行いました。

イ ラジオ体操推進事業

市民ラジオ体操の集いを市の主催事業として、4月及び10月に開催しました。

(参加者:各500名)

ウ 血圧改善支援事業

高血圧症予防の一環として、高血圧になるリスクの高い方の生活習慣の改善を目的に、保健師による個別保健指導を実施しました。

対象者566人 面接指導118人(20.8%) 電話指導99人(17.5%) 訪問指導3人(0.5%)

【平成27年1月末現在】

エ 地域健康づくりリーダー育成

食生活または運動を通じて、地域でボランティア活動に取り組む団体を支援するため、ボランティア団体の会員養成に取り組みました。

食生活改善推進員31名、すこやか推進員13名

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	健康推進課(健康増進チーム)
重点事業項目名	1 栄養改善業務の定着・充実・強化 2 食育の推進
1 事業概要 市民の健康の保持・増進並びに生活習慣病予防の観点から、正しい栄養知識の普及と食生活の改善を図るため、ライフステージに応じた栄養指導を行いました。 また、病態等に対する栄養指導など、様々な方を対象に食生活の改善支援を行うとともに、食育に着目した事業を実施しました。 特定且つ多数の方に継続的に食事を提供する施設に対しては、適切な栄養管理が行われるよう、必要な指導及び助言を行うなど、市民の健康づくりの支援に努めました。	
2 具体的な取組み(実績は平成27年2月末現在) (1) 食と健康づくりの環境整備 ア 外食栄養成分表示定着促進事業(くるめ健康づくり応援店事業) 外食栄養成分表示定着促進事業では、飲食店等のメニューの栄養成分表示、ヘルシーメニューの提供により、市民自らが健康管理を行える環境づくり(食環境整備)に取り組んでまいりました。これら取り組みをさらに進めていくためには、登録店を増加させ、多くの市民が健康づくりの情報を入手しやすい環境を構築する必要があるため、平成27年1月から事業内容の見直しを行い、くるめ健康づくり応援店事業として実施しました。見直しの具体的内容としては、登録店の対象に食料品販売店等を加え、また登録店の要件として、健康情報の提供及び朝食提供を追加しました。 ・くるめ健康づくり応援店：69店舗(調整中5店舗) イ たばこ対策 喫煙及び受動喫煙による身体への影響についての普及啓発を行いました。 ・禁煙週間(5月31日～6月6日)での啓発 - 禁煙パネル展示・冊子配布・DVD放送、一酸化炭素濃度測定・禁煙相談 53人 - 啓発街頭キャンペーン(ゆめタウンにて啓発ティッシュ 1,000個配布) ・喫煙防止教育の実施 小学校3校、中学校1校 計411人 ・各種イベント(校区まつり、健康フェスタ等)における禁煙啓発(一酸化炭素濃度測定)…3箇所 59人 ウ 専門栄養教室の実施状況 専門的な知識及び技術を活かして、病態に応じた栄養指導を行いました。 ・専門栄養教室 実施回数：3回(未熟児保護者) 延べ参加数：11組 (2) 食育・生活習慣病予防の推進 地域や団体による生活習慣病予防のための支援、並びに情報提供を行いました。 ア 高校、大学生等への食育 ・食育をテーマに講話、調理実習等を実施 - 高校 6校 495人 短期大学・大学 3校 171人 専門学校 1校 78人 ・食育啓発イベント 大学1校 イ 生活習慣病予防のための活動の支援 ・食生活改善推進員協議会フォロー教室 6回 259人	

ウ イベントにおける正しい栄養知識と食習慣の普及啓発

- ・健康くるめ21フェスタ（11/9 えーるピア久留米 来場者：延べ1078人）
食育SATシステムによる食事診断及び食事相談、幼児食レッスン、
まちかど栄養・糖尿病予防健康相談等

- ・食育フェスタ（11/8～9 リサーチセンタービル 1F 参加者：923 人）

8 日企画：「赤・黄・緑のくるっぱを完成させよう！」食材シールに色を塗って 3 色のくるっぱのからだに貼り分け。

9 日企画：「赤・黄・緑ぶんるいゲーム」食品サンプルを 3 食の箱に分類。

(3) 特定給食施設への適切な指導体制の整備

特定且つ多数の方に継続的に食事を提供する施設を把握し、その施設に対して、適切な栄養管理が行われるよう必要な指導・助言を行いました。

ア 特定給食施設巡回指導の実施…巡回指導施設数：対象130施設中128施設

イ 関係職員研修会実施…2 回実施 延べ 126 人参加（全 3 回を予定）

※その他、児童保育課からの依頼を受け、保育所給食担当者向けに、やせ・肥満ソフトの使用方法に関する説明を実施。…8 月 28 日 102 人参加

課名		地域保健課			
チーム名		地域保健チーム			
		地域保健活動			保健センター管理・運営
通年事業		【地域訪問活動】 ○保育園、幼稚園、子育て支援センター ○小・中学校 ○医療機関(産科・小児) 【地域会議参加】 ○校区コミュニティ協議会 ○民生委員児童委員協議会(全校区月1回) ○小・中学校における事例連携会議 ○地域包括支援センター連絡会議(中央・各保健センターで年1～2回程度) 【庁内会議出席】 ○地域包括ケアシステム構築プロジェクト会議 ○地域ケア会議プロジェクト 【(保健職)人材育成】 ○健康福祉部研修委員会 ○保健職人材育成計画推進ワーキングチーム会議	【母子保健分野】 ○健康相談(母子サロン等) ○健康教育(保育園保護者会等) ○乳幼児(集団)健診及びフォロー(未受診・受診者) ○妊産婦、新生児訪問 ○マタニティ教室 ○ゆったり子育て相談会 ○地区担当保健師執務事業 ・プレパパママ教室 ・ママパパきもち楽々相談 ・親子のびのび教室 ○連携会議出席(定例) ・要保護児童対策地域協議会実務者会議(月1回) ・家庭子ども相談課と健康推進課との連絡会議(月1回) ・こんにちは赤ちゃん事業定例会(月1回) ・母子訪問定例会議(月1回) ・乳幼児健診あり方検討会 ・産科医療機関との連携会議 ・地域健康づくり(母子)プロジェクト会議	【健康増進分野】 ○健康相談(校区イベント、定例相談) ○健康教育(校区、商工会、JA、保育園、幼稚園、小・中学校等) ○健康くるめ21計画の推進・啓発 ○けんしん啓発(がん検診・特定健診等) ○熱中症予防啓発 ○生活習慣病重症化予防支援事業 ○連携会議出席 ・特定健診等合同検討会 ・老人ホーム入所判定委員会 ・救護対策部運営マニュアルプロジェクト	○南部保健センターに係る管理運営業務 ○各地域保健センター(城島、北野、田主丸、三瀬)の予算執行に係る進捗管理 ○(仮称)中央保健センター整備に係る検討 ●城島保健福祉センター(城島げんきかん)及び北野保健センター(コスモすまいる北野)における平成27年度指定管理者制度への移行に向けた設置条例の改正、選定委員会の設置、公募、指定、及び事務引継ぎ等
26年	4月			●日吉校区不発弾処理に伴う要援護者訪問(健康状態把握)、避難誘導等	
	5月				
	6月	○民生委員児童委員役員会・会長会 ○防災マップ会議 ●人材育成計画推進チーム会議(部内)		●日吉校区不発弾処理に伴う要援護者訪問(健康状態把握)、避難誘導等 ○がん検診・特定健診啓発(6～11月)	●城島げんきかん・コスモすまいる北野に係る設置条例の改正(指定管理者による管理)
	7月	○人材育成オリエンテーション ○人材育成プリセプター集合研修			●指定管理者選定委員会①
	8月	○民生委員児童委員役員会・会長会	●母子訪問強化事業検討会		
	9月				●指定管理者選定委員会②
	10月		○セーフコミュニティDV防止対策委員会	○人権フェスタ健康相談(江南中、明星中)	●指定管理者選定委員会③ ●指定管理者候補者の選考結果公表
	11月		○男女平等推進センター相談関係者ネットワーク会議 ●青峰校区住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業会議	○人権フェスタ健康相談(屏水中)	●指定管理者候補者と(仮)基本協定書締結
27年	12月		○母子訪問指導員会議		●指定管理者の指定(市議会議決)
	1月	○保健職全体研修(前期)	●母子訪問強化事業専門研修	●地区担当保健師活動報告会	●指定管理者と事務引継ぎに係る協議開始(～3月)
	2月	●市職員の心の健康づくり計画検討委員会			
27年	3月	○民生委員児童委員役員会・会長会 ○保健職全体研修(後期)	○母子訪問指導員会議		
	備考				平成27年4月1日から指定管理者による管理開始

平成26年度 久留米市保健所重点事業報告

担当課名(担当チーム名)	地域保健課（地域保健チーム）
重点事業項目名	地区担当保健師による地域保健活動
1 事業概要 住民が主体的に健康づくりに取り組むまちづくりを目指し、地域との信頼関係を深めながら、協働の視点を踏まえ、地域を「見る・つなぐ・動かす」様々な保健活動を展開しました。 その中では、各校区コミュニティーセンターや医療機関などの関係機関を訪問し、「顔の見える関係」づくりを進めながら、地区担当保健師の活動・役割についての情報提供等を行いました。このような取組みにより、健康教育の依頼や発達・虐待等の相談が増え、家庭子ども相談課等の庁内関係課や医療機関等とも連携し、ハイリスク事例の早期対応が進みました。 2 具体的な取組み (1) 地域保健活動の見直し 平成25年4月に改正された国の保健活動に関する指針を踏まえつつ、本市の地域を取り巻く状況や地区担当保健師の体制等に即した内容とするため、活動の方針を見直しました。 (2) 各地域（校区）における健康課題の把握 校区コミュニティーセンターや保育園、幼稚園、子育て支援センター、及び小・中学校等を訪問するとともに、民生委員児童委員協議会にも参加するなどにより、地域の健康課題に関する情報の収集・把握に努めました。 また、健康教育や個別指導を行う際のツールとして、本市の健康状態を分かりやすいデータで図解した「健康データハンドブック」を作成しました。 (3) 家庭訪問 ア 妊産婦、新生児訪問 産科・小児科医療機関や保育園・幼稚園等と連携、及び情報の共有化を図りながら、18歳未満、多胎児、外国人、22週以降妊娠届出者等のハイリスク妊婦、及び乳幼児健診における未受診者や受診者のフォロー・支援を行うため、対象者の家庭訪問を実施しました。 また、第1子訪問は、地域に密着した活動と市民と顔の見える関係づくりができるよう、平成26年度から地域保健課が担うことになり、地区担当保健師等で実施しました。 イ 母子訪問強化事業【新規】 核家族化や家族形態の多様化に伴い、深刻化、複雑化している妊婦や母子の処遇困難ケース等に対応するため、専門研修会の実施や専門家による訪問時の助言・指導を通じた地区担当保健師等の資質の向上を図りました。 ①専門研修会 地域で子育て家庭を支援している主任児童委員や地区担当保健師等を対象とした相談業務の資質向上を図る研修会を実施しました。	

②訪問相談・個別ケース対応に関する助言・指導

対応困難なケースや訪問指導の手法等について、専門家による同行訪問を通じた個別対応に関する助言・指導を行いました。

ウ 成老人世帯への訪問

地域包括支援センターと連携し、健康課題を抱えた高齢者及びその家族（成人）を同行訪問し、事例の検討を進めながら、適切な医療や福祉などの行政サービスにつなげました。

エ 生活習慣病重症化予防事業

生活習慣病における治療につがっていない、または治療中断中の方（市国保特定健診対象者）を対象とした地区担当保健師の訪問による保健指導を実施しました。

【対象者】40～74歳でH24特定健康診査の結果が以下のいずれかに該当する方

- ①HbA1c8.0以上 ②Ⅲ度高血圧以上 ③Ⅱ度高血圧（腎機能低下を伴う）
- ④LDLコレステロール200以上（平成26年度から追加）

オ 城島地域における特定健診啓発活動

特定健診の受診率向上を図るため、受診率が比較的低い城島地域において、各医療機関に受診率向上に向けた協力を依頼するとともに、家庭訪問による個別受診勧奨や地域の団体やイベントで普及啓発活動を実施しました。

（4）保健センター等での窓口受付及び相談

平成26年度から妊娠早期から健康相談やハイリスクケースに対応するため、市民センターでの妊娠届申請受付を廃止し、保健センター等で、保健師や助産師が母子健康手帳を交付し、相談を受ける体制としました。

（5）全ての世代を対象とした健康相談、健康教育

ア 健康相談「健康なっとく相談」

市民が自ら認識した健康状態や課題に応じた取組みを行い、各種サークルへの参加等を通じた心身の健康保持・増進を図ることを目的に実施しました。

（114回、3,082人：1月末現在）

また、平成25年度から地域で実施する健康相談に加え、保健所・各保健センターで、月1回の定例健康相談を実施し、相談希望者に対し、個別にきめ細かく対応できる体制としました。

（11回、15人：1月末現在）

イ 健康教育「健康なるほど講座」

市民の健康づくり支援と生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図るため、市内の団体やグループ等からの依頼に応じ、健康教育を実施しました。

また、「第2期健康くるめ21」計画の重点対象者である働き盛りの20～40歳代への健康教育受講者数の増加を図るため、保育園や幼稚園等の保護者への働きかけを行い、平成27年1月末時点で、5保育園からの依頼を受け、健康教育を実施しました。

（147回、4,673人：1月末現在）